

令和7年度 マスターズクラブ講演会（東海）講演会のご案内

令和7年度マスターズクラブ（東海）講演会を下記の通り開催いたします。当日は例年のように、東海支部常任幹事会及び合同役員会終了後に、対面とオンラインで開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。マスターズクラブ会員や支部幹事以外の方のご参加も大歓迎です。

日 時：令和8年1月22日（木）役員会終了後（16:00~17:00）

会 場：名古屋工業大学 1号館B棟1階120B室（大学院ゼミ室）

主 催：日本油化学会マスターズクラブ（東海）

参加費：マスターズクラブ会員・東海支部幹事：無料

上記以外の普通会員・法人会員・非会員・学生：1000円。

下記、油化学会東海支部振込口座にお振込みください。

オンライン参加を希望する場合、参加費振込 確認後、後日、

ZOOM アクセス用 URL をメールにてお知らせします。

講 師：村瀬由明 氏 （元名古屋市工業研究所）

演 題： 地方公設試験所ではなにをしているか、共同研究から

「産官学連携」という言葉が広く使われるようになり、共同研究に官庁が加わることは望ましいとされています。官庁の一部門である地方公設試験所も、大学や企業と連携して共同研究に参画することが珍しくありません。しかし、地方公設試験所は研究員の数が限られており、油化学会における会員数も非常に少数です。「開かれた地方公設試験所」と言われながらも、他業界の方々にはその具体的な業務内容が見えにくいのが現状ではないでしょうか。

私は約40年間、地方公設試験所に勤務し、複数のテーマで共同研究を行ってきました。研究は常に順調に進むわけではなく、成功したプロジェクトでも紆余曲折があり、限られた人材と資源の中でどう進めるか悩む場面も多くありました。また、日常業務として企業への技術移転や指導も行っています。

本講演では、私が関わってきた共同研究の事例や取得した特許をもとに、地方公設試験所の具体的な業務内容やその役割についてご紹介いたします。

申込方法： Web で（公財）中部科学技術センターHP (<https://www.cstc.or.jp/>) にて新着情報から本講座の案内に入り、「申込方法」の参加申込みフォームをクリックし、必要事項をご記入ください。

振込先： 三菱 UFJ 銀行 八重洲通支店 普通預金口座 No.0757802

公益社団法人日本油化学会東海支部

振込手数料のご負担をお願いします。振込が開催日（1/22）以降となる場合、申し込みフォームの連絡欄に振込予定日をご記載ください。当日払いを

ご希望の場合、申し込みフォームの連絡欄にその旨をご記載ください。

連絡先：〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル7階
中部科学技術センター内日本油化学会東海支部

TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469

申込締切：2026年1月19日（月）

定 員：30名